

Toyota Municipal Museum of Art Press Release

豊田市美術館 プレスリリース

2025.2.3



Toyota
Municipal
Museum
of Art

豊田市美術館



《朱漆振紐文火鉢》1962年頃 豊田市美術館蔵

生誕120年 人間国宝 黒田辰秋 木と漆と螺鈿の旅

Kuroda Tatsuaki : A Journey Through Wood, Lacquer, and Mother-of-Pearl

2025年3月15日[土]—5月18日[日]

開館時間： 10:00-17:30 (入場は17:00まで)
休館日： 月曜日 [2025年4月28日、5月5日は開館]
主催： 豊田市美術館、京都国立近代美術館
共催： 中日新聞社

観覧料：	一般	高校・大学生	中学生以下
当日窓口販売	1,200円	1,000円	無料
オンライン販売	1,000円	800円	—

*前売券及び20名以上の団体は当日料金から200円割引

*前売券の詳細、その他観覧料の減免対象者及び割引等については、当館ウェブサイトをご確認ください。

お得なセット券を販売します(オンライン限定)

同時開催の「玉山拓郎」展と会期が重なる時期に使用できるセット券です。

一般1,900円、高校・大学生1,500円

セット券販売期間：2025年3月15日[土]—5月18日[日]

開催趣旨

明治 37（1904）年に京都の祇園清井町に生まれた黒田辰秋は、幼いころから父が営む塗師屋の職人仕事に親しんでいましたが、当時の分業で行う漆工芸の制作体制に疑問を持ち、素地作りから加飾までを一貫制作する独自の制作スタイルを確立しました。

昭和 2（1927）年に黒田は「上加茂民藝協團」の立ち上げに参加します。この活動は 2 年余りで幕を閉じましたが、昭和 3（1928）年の御大礼記念国産振興博覧会の「民藝館」への参加や翌年の毎日新聞社京都支局会館での「上加茂民藝協團展」の開催など、この間にその後の活動につながる様々な経験を積んでいます。昭和 10 年代から 20 年代にかけては過去の作例に学びながら独創性を開花させ、30 年代から 40 年代にかけては、日本伝統工芸展を活躍の場として、拭漆や耀貝（メキシコ鮑）による螺鈿を用いて、多彩で力強い独自の境地に達しました。昭和 45（1970）年には木工芸の分野において初めてとなる重要無形文化財保持者（人間国宝）に認定されています。

黒田の生誕 120 年を記念して開催する本展は、日本の工芸史に確かな足跡を残したその生涯を、初期から晩年までの代表作を通じて紹介するものです。

展示予定 点数

約200点

展覧会の みどころ

- ・河井寛次郎、黒澤明、白州正子、武者小路実篤らの愛用品を含む、家具などの大作から所蔵者たちが掌で愛でた名品まで、初期から晩年までの多彩な作品を一堂に展観します。
- ・本展では作品を年代にそった展示だけでなく、「民藝」「木」「塗」「螺鈿」に分けて作品を読みとき、黒田の仕事の特徴をより立体的にご覧いただけます。
- ・《木地蠟色櫛厨子》については、所蔵先（最勝寺）のある富山県外では初の展示です。

関連事業

- 記念講演会「黒田辰秋—木と漆の芸術—」
日時 4月6日（日） 午後2時-
講師 諸山正則（工芸史家。元東京国立近代美術館主任研究員）
- 記念レクチャー
日時 4月26日（土） 午後2時-
講師 大長智広（京都国立近代美術館主任研究員）
- 学芸員によるギャラリートーク
日時 3月30日（日）、4月19日（土）、5月11日（日） 午後2時-

お問合せ

豊田市美術館 〒471-0034 愛知県豊田市小坂本町8丁目5番地1

HP:<https://www.museum.toyota.aichi.jp> e-mail:bijutsukan1@city.toyota.aichi.jp

- 展覧会に関すること 西崎、千葉 Tel 0565-34-3131
- 掲載依頼・取材等に関すること 西本、加藤、籠谷（こもりや）、大原 Tel 0565-34-6748

生誕120年 人間国宝 黒田辰秋 木と漆と螺鈿の旅 広報用画像について

当館ウェブサイト「広報用画像ダウンロード」申込みフォームより、ご希望の画像を申請してください。
「広報用画像ダウンロード」の画像提供サービスは、パソコンでのみダウンロード可能となります。
パソコンをお持ちでない方は、以下を記入のうえ、Faxでお送りください。

送り先：豊田市美術館 西本、加藤、籠谷(こもりや)、大原

Tel 0565-34-6748 Fax 0565-36-5103

e-mail:bijutsukan1@city.toyota.aichi.jp

お名前 様 ご所属

Tel

e-mail

必要な画像等の番号

掲載紙／メディア名

発売、放送予定日 月 日 (月号、vol.)

必要な鑑賞券枚数(最大5組10名分) 枚

鑑賞券の送付先 〒

*読者プレゼントのため等、希望する場合のみご記入ください



- 1.《拭漆文欄木飾棚》 1966年 京都国立近代美術館蔵
2.《乾漆耀貝螺鈿食籠》 1974年 国立工芸館蔵
3.《拭漆松衝立》 1934年 個人館
4.《朱漆振紐文火鉢》 1962年頃 豊田市美術館蔵
5.《彫花文椅子(拭漆檜家具セット)》 1964年 豊田市美術館蔵

- ・クレジットを必ず添えてください。
- ・作品写真のトリミング、文字のせはご遠慮ください。
- ・ご紹介いただく場合は、情報確認のためお手数ですがゲラ刷り等をお送りください。
- ・情報掲載後、献本または公開後の報告をお願いします。

美術館使用欄 画像提供の依頼日 年 月 日 画像送付 校正 修正 配信・配本